

白山麓キャンパス

大地震対応ガイドブック

【学生用】

このガイドブックでは、当地及び近隣県において震度5強もしくはマグニチュード7以上の大地震が、発生したときの[準備]、大地震[発生]時に行動すべきことを示しています。

重要なポイントは以下の3つです。

- ① 大地震への備え
- ② 大地震発生から揺れが収まるまでの行動
- ③ 安否連絡

大地震発生時には一人ひとりの[的確な判断]と[臨機応変な行動]が最も重要です。大地震が起きたときに速やかに行動できるよう、このガイドブックの内容をよく理解して下さい。

目次

1.	大地震への備え	2
2.	大地震発生から避難まで	3
3.	大地震発生時の基本行動	4
4.	避難場所(集合場所)	6
5.	白山麓キャンパスからの緊急放送	7
6.	大学・高専の安否連絡	7
7.	外出時の注意事項	8
参考資料 1	非常時の備え	9
参考資料 2	災害情報ツール	9
参考資料 3	応急手当	10

このガイドブックは随時改定いたします。

1 大地震への備え

大地震は、いつどこで起きるかわかりません。そのときにどうするかを常に考えて「地震に対する備え」を忘れてはなりません。

大地震を含む全ての災害に対応する最も大切な基盤は、「自助」、「共助」、「公助」の三つの行動です。

《自助》→一人ひとりの行動 身の回りの安全を確保して最低限の水、食糧、生活用品を準備する自主行動です。

「非常持出品」を準備する等災害から自分と家族を守るために、備えをしておいて下さい。

《共助》→町会等の地域団体の行動 大地震が起きたときに備えて集団避難の要領、連絡体制等助け合える基盤づくりです。地域住民、友人との「日常的な交流」を心がけて下さい。

《公助》→国、県、市、消防、警察、自衛隊等公的機関の行動 災害の初動期から復旧までの公的機関として役割を防災計画等に基づいて準備しています。

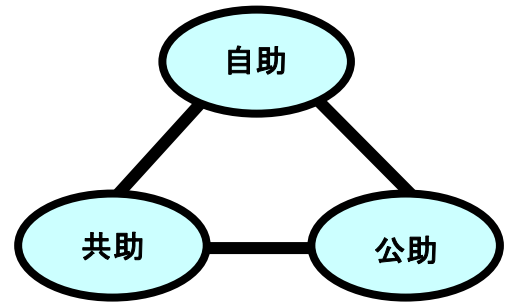


図1. 大地震に対する心構え

1.1 本学園が行なっている大地震への備え

本学園では、学生の皆さん以外にも来訪者が避難してきたことを想定して、必要な非常食糧や毛布等を備蓄しています。また全教職員が「大災害対策基本マニュアル」により万一に備える他、防災訓練を行い応急処置やAEDの使い方、学生の安全を確保するための避難誘導訓練を実施しています。その他、本学園では地震への対策を含めて、定期的に安全パトロールを実施し、次の事項について確認しています。

- ・4S(整理・整頓・清掃・清潔)活動に努め、避難経路の確保(重い物は下に置く)。
- ・学内のすべての棚、キャビネット、高圧ガスボンベ、薬品庫には転倒防止対策。
- ・地震の被害を最小限に抑えるために、化学薬品等(消防法危険物・有害物質・ガス類)の保管量を管理。
- ・薬品庫内の薬品は、地震で大きく揺れても容器が接触しないように、仕切られたトレーを備えて保管。
- ・混合によって発火する危険のある化学薬品は、離れた場所で保管(酸、アルカリ、有機溶剤)。
- ・非常時責任者連絡網の整備。
- ・大学内の非常階段、消火器設置場所の点検確認。

1.2 日頃からの地震への備え

大地震が発生したときの被害を最小限にいくとめるためには、日頃からの防災対策が重要になり、安全活動のひとつである4S(整理・整頓・清掃・清潔)活動が有効になります。

日頃から守るべきポイントを示します。できることから早めに始めて下さい。

1. 部屋や物品を「整理・整頓」する。
 - 1) 机・テーブルの下には何も置かず、安全な逃げ場所として確保する。
 - 2) 寮内で使っていないものは処分し「整理・整頓」して安全な空間をつくる。
 - 3) 大きな物・重い物は下段に収納し、高い位置に割れやすい物を置かない。
 - 4) 品物が倒れることの無いようにシミュレーションしながら片づける。
2. 「避難経路」を確保する。
 - 1) 出入口や廊下、階段を確保する。
 - 2) 「避難経路」周辺の家具等の地震対策を特に念入りに行う。

2 大地震発生から避難まで

大地震発生から避難までの行動の概要は次の通りです。
まずやらなければならないこととして覚えて下さい。

大地震発生

- ① 自分の身を守る
テーブル、机の下等へもぐる
窓の近くから離れる
手持ちのバッグや衣類等で頭を覆う



発生後 1～2 分

- ① すばやく火の始末
使用機器のコンセントを抜く
- ② 非常脱出口の確保
ドア・窓を開ける
- ③ 同室者や近隣室の安全を確認
倒れた備品等の下敷きになっていないか
確認し、受傷者がいたら、助けを呼び救出する



揺れが収まったら

- ① 助け合う
他の部屋・教室等で倒れた備品等の下敷きになっていないか確認する
受傷者がいたら、みんなで救出する
- ② 余震に注意して避難
キャンパス内の避難場所や自治体の避難場所へ避難して安否報告する

3 大地震発生時の基本行動

大地震発生時に取るべき具体的な基本行動は、表1の通りです。いざというときに、すぐに行動できるようにして下さい。また、震源に近い所では緊急地震速報を知ってから強い揺れが来るまで、数秒から数十秒と極めて短く、情報が間に合わない場合もあります。直下型地震では、揺れの後から緊急地震速報が届くことがあります。

表1. 大地震発生直後の基本行動

	キャンパス内での行動	寮での行動	キャンパス外での行動
大地震発生	どこにいても身の安全を守り、冷静に行動する。		
	<ul style="list-style-type: none"> ・窓の近くはガラスが割れて危険なので速やかに離れる。 ・頭を保護し丈夫な机等の下にもぐる。 ・近くに身を隠す場所がない場合は、天井や棚等の落下物から頭を守るために、バッグや衣類等で頭を覆う。 ・1～2分後まで大きな揺れが収まるまで様子を見ながら以下を確認する。 		
大地震発生後から1～2分経過まで	<ul style="list-style-type: none"> ・部屋のドアを開け、避難経路を確保する。 【周囲の状況確認をする】 ・棚等は、中のものが飛び出し危険なので離れる。 ・火気を使っている場合は、すぐに火を消す。 身が危険な場合は無理して火を消さないでその場から離れる。 ・電気火災、漏電の対策として、電気器具はコンセントを抜く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・就寝中は、布団や枕等で頭を守り、転倒のおそれのある家具から離れる。 ・風呂・トイレにいる場合は、ドアや窓を開け、避難経路を確保する。(風呂・トイレは比較的安全な場所といわれている。) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ブロック塀の倒壊等にご注意する。 ・看板や割れたガラス、瓦等の落下にご注意し、建物から離れ、安全な場所に避難する。 ・鉄道やバス等に乗車中は、つり革や手すりにしっかりとつかまる。
	<p style="text-align: center;">身の安全を確保しながら、火の確認・避難行動、負傷者の有無の確認・救急救護行動を想定する。</p>		

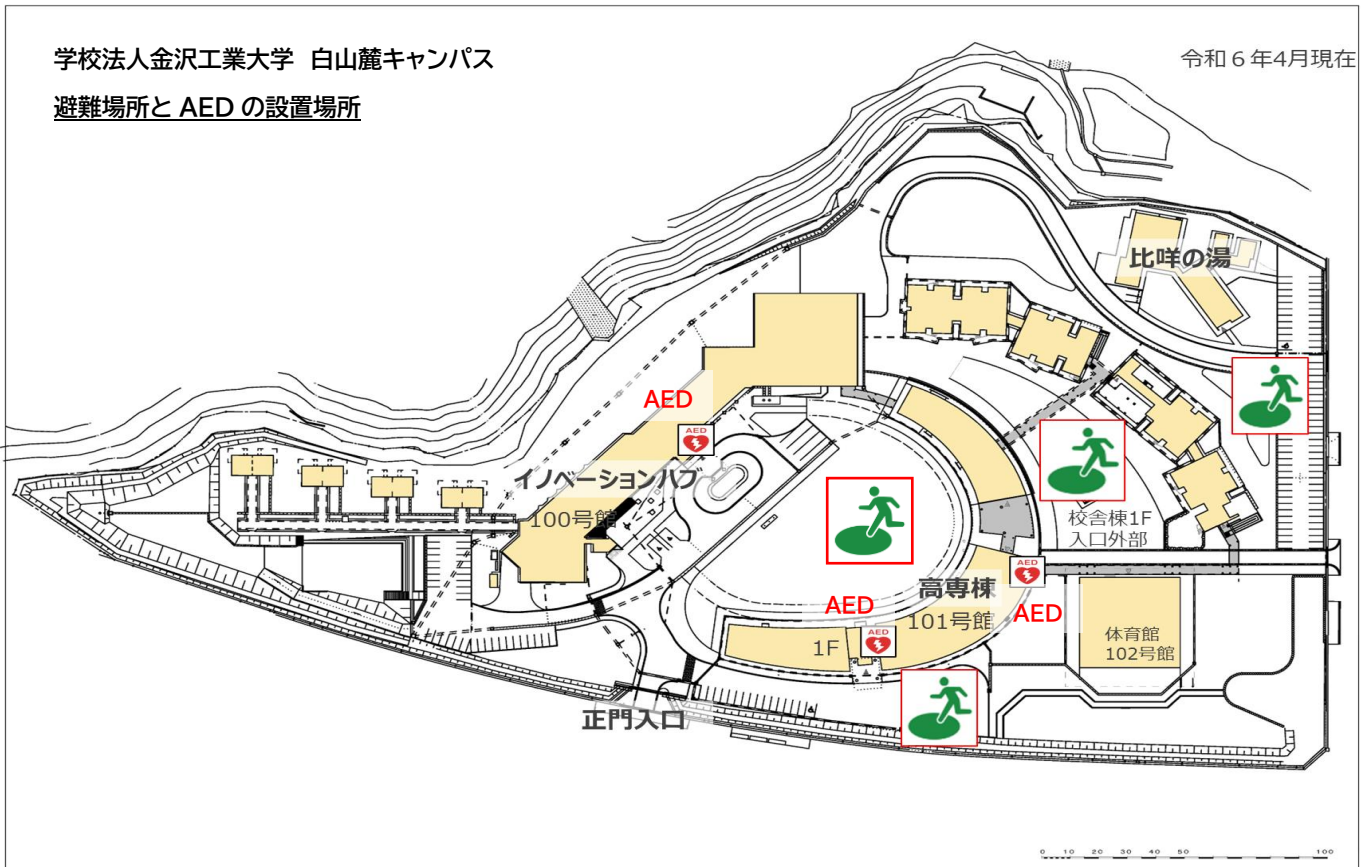
	キャンパス内での行動	寮での行動	キャンパス外での行動
避難 (揺れが収まったら)	行動のポイントは、 <ul style="list-style-type: none"> ・自分の身の安全を確保する ・地震火災等、二次災害の防止に努める ・受傷者の救助にあたる 		
	<ul style="list-style-type: none"> ・冷静に落ち着いて行動する。 ・建物は大丈夫か、火災はおきていないか、受傷者はいないか確認する。 ・火災の場合は、自分の身が安全な範囲で初期消火に努める。 ・受傷者がいる場合は、周囲に助けを求め救助する。(車椅子使用者等の避難補助をする。) <p>【自分が負傷した場合】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大声をあげて助けを求める。 ・声が出せない場合は、大きな音を出す(物を叩く)等をして、助けを求める。 <p>【避難する場合】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・火災が起きている場合は、体勢を低くして煙を吸わないようにタオルやハンカチで口を覆い避難する。 ・エレベーターは使わず、階段を使用する。 ・押し合うことなく互いに協力し冷静に避難する。 ・移動中に落下物が当たらないように注意する。 ・荷物は、原則貴重品のみ持っていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・キャンパス内避難場所、もしくは自治体の避難場所に避難する。 ・狭い路地、塀ぎわ、がけや川べりに近づかない。 	避難する場合は、 <ol style="list-style-type: none"> ①白山麓キャンパス ②自治体の避難場所 のうち、どこに行くかは、距離、自分の体力、周りの状況等を総合的に適切に判断して決める。 移動は原則として徒歩で。
	<ul style="list-style-type: none"> ・室内の最終確認 ・室内の状況(薬品の漏れや流出、部屋の損壊、火災状況)等を確認後、キャンパス内避難場所に避難する。 		
避難場所	<ul style="list-style-type: none"> ・一次避難場所での安全確保をする。 ・傷病者の確認、手当、対応をする。 ・大学・高専からの安否確認に必ず回答する。 ・家族に必ず安否報告をする。 		

4 避難場所（集合場所）

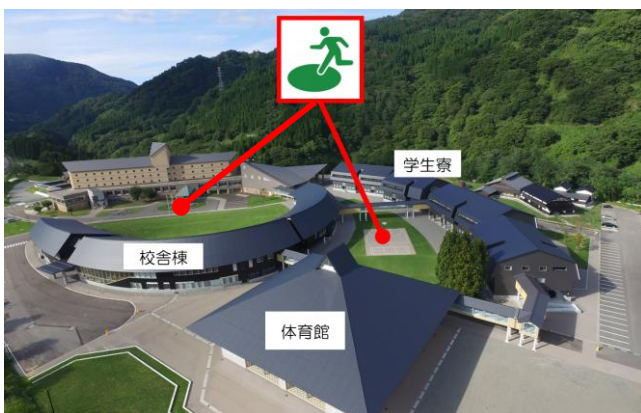
避難場所は、以下の図を参照して避難して下さい。

表2. 避難場所

時季	避難場所
通常時	イノベーションハブ前 広場、キャンパス内バスケットボールコート
積雪時	比咩の湯 駐車場、国際高専正面玄関 駐車場



【通常時の避難場所】



【積雪時の避難場所】



5 白山麓キャンパスからの緊急放送

大地震発生直後、警備室及び高専事務室から大災害の発生及び避難等について緊急放送を行ないます。放送内容をよく聞き、行動して下さい。

6 大学・高専の安否連絡

本学園では、学生の安否確認は安否確認システム（メール）を通じて行いますので、各自の携帯電話に設定して下さい。なお、安否確認システムのメールは、迷惑メールに振り分けられる場合があるので、注意して下さい。

安否確認システムに回答が届かない学生には、学部 1～3 年次生は修学アドバイザー、4 年次生と大学院生は研究室の指導教員、高専生は高専の教職員と協力して安否確認を行います。なお、携帯電話等で、安否確認システムに回答できない学生は、下記のいずれかの方法でできるだけ早く報告して下さい。

【国際高等専門学校】

電話	076-256-7123
FAX	076-256-7124
電子メール	office@ict-kanazawa.ac.jp
郵便	〒920-2331 石川県白山市瀬戸辰 3-1 国際高専専門学校 白山麓キャンパス
その他	076-248-1080（金沢キャンパス電話番号） 076-248-1100（学園代表電話番号） 学校名、学年、名前を名乗って下さい。

【金沢工業大学】

電話	076-294-6739
FAX	076-248-9747
電子メール	kit-annpi@kanazawa-it.ac.jp ※1. PC 等に事前登録して下さい。 ※2. 上記のメールアドレスは受信専用です。
郵便	〒921-8501 石川県野々市市扇が丘 7-1 金沢工業大学 修学相談室
その他	076-248-1100（学園代表番号） 学校名、学部学科名、学年、名前を名乗って下さい。

7 外出時の注意事項

大地震が収まって大学の宿泊施設・寮に戻る際は次のことに留意して行動して下さい。

1. 帰寮可否の判断
 - 1) 情報収集・状況確認…帰寮先の安全は確保されているか
 - 2) 経路・距離…安全に帰れる経路は確保されているか、歩ける距離かどうか
2. 帰寮の心得
 - 1) 電池が消耗するので携帯電話はむやみに使わない。
 - 2) 自治体の防災放送やメディア等の情報を確認して行動する。
 - 3) 帰寮が困難な場合は、近くの自治体避難所に避難する。

表2. 白山麓キャンパス周辺の避難場所

施設名	所在地	電話番号
①尾口コミュニティセンター	白山市瀬戸牛10	076-256-7052
②白嶺小中学校	白山市瀬戸申66	076-256-7144
③吉野谷コミュニティセンター	白山市佐良二136	076-255-5146
④鳥越ふるさとセンター	白山市上吉谷町甲99	076-254-2059
⑤白山麓体育館	白山市吉野ケ23	076-255-5648
⑥鳥越中学校	白山市釜清水町チ140	076-254-2319
⑦鳥越小学校	白山市上野町才1	076-254-2219
⑧かわちコミュニティセンター	白山市河内町福岡77	072-272-1133
⑨河内小学校	白山市河内町口直海イ88	076-272-2516

参考資料 1 非常時の備え

●非常用持出品の例

- ・貴重品…学生証、携帯電話、現金、通帳、印鑑、免許証、保険証 等
- ・救急医薬品…ばんそうこう、包帯、常備薬 等
- ・生活用品…タオル、ティッシュ、雨具、ビニール袋、生理用品 等
- ・その他…携帯電話等の充電機、ライト（予備電池は多めに用意する）

●非常備蓄品（3日分程度が目安）の例

- ・飲料水…ペットボトルのミネラルウォーター（1人1日3リットルを目安とする）
- ・非常食品…栄養補助食品、インスタント食品 等

参考資料 2 災害情報ツール

① 【携帯電話メール】

総務省報道資料によると、2011年の東日本大震災時ではメール等のデータ通信は、携帯電話の音声通話と比べるとつながりやすい状況でした。緊急時は、メールを活用するようにして下さい。

総務省報道資料：https://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01kiban05_01000014.html

② 【災害用伝言板】

大手キャリアでは、各携帯電話会社独自の災害用伝言版を利用することができます。詳しくは、下記アドレスを参照して下さい。その他のキャリア携帯に関しては、各自で確認をして下さい。

- NTT docomo : https://www.nttdocomo.co.jp/info/disaster/disaster_board/
- au : <https://www.au.com/mobile/anti-disaster/saigai-dengon/>
- Softbank : <https://www.softbank.jp/mobile/service/dengon/>

災害用伝言版へは、以下のアドレスからアクセスできます。

- NTT docomo : <http://dengon.docomo.ne.jp/top.cgi>
- au : <http://dengon.ezweb.ne.jp>
- SoftBank : <http://dengon.softbank.ne.jp/>

以下の2次元バーコードを読み込むことでもアクセスできます。

NTT docomo

au

SoftBank



大手キャリア以外の携帯電話では、NTT 東日本、NTT 西日本が提供している災害用伝言版(web171)が利用できます。アドレス：<https://www.web171.jp/>

③ 【NTT災害用伝言ダイヤル「171」】

災害用伝言ダイヤル「171」も有効な手段です。地震等の災害発生時に、つながりにくい状況になった場合のサービスです。伝言ダイヤルの提供開始や条件は、状況に応じてNTTが設定し、テレビ・ラジオ・NTTホームページ等を通じて皆様にお知らせします。

- ・登録できる電話番号：被災者等の加入電話・ISDN・ひかり電話・携帯電話・電話番号です。なお、固定電話の番号は市外局番から入力する必要があります。
- ・伝言録音期間：1 伝言あたり 30 秒以内
- ・伝言保存期間：災害用伝言ダイヤル（171）の運用期間終了まで
- ・伝言蓄積数：電話番号あたり 1～20 伝言（提供時に通知されます）

④ 【その他】

インターネット電話(Skype等)や050IP電話、災害用伝言板(Web171)、LINEやX(旧Twitter)などのSNSはつながりやすいので、活用して下さい。

参考資料 3 応急手当

応急手当を行う前に、けが人や急病人の状態をよく確認することが大切です。

もし人が倒れていたら、(1)大量の出血 (2)意識 (3)呼吸 (4)脈があるかどうかを確認して下さい。また、手足は動くか、顔色、体温等をよく観察して適切な処置の判断を行って下さい。

- 意識がない場合→気道を確保し、呼吸していなければ心肺蘇生(人工呼吸や心臓マッサージ)を行う。またAEDがあれば使用する。※AED(Automated External Defibrillator; 体外自動除細動器)
- 出血がある場合→傷口に清潔なガーゼや布をあてて圧迫する。手でしっかりおさえて、包帯を少し強めに巻く。手足の傷のときは、患部を高くあげて動かさないようにする。
- 骨折の場合 →添え木(段ボール・傘等)で骨折部を固定させて病院へ搬送する。
- 重症の場合 →119番へ連絡する。

119番へ連絡すべき事項 / Information to be reported to 119

- | | |
|--|-------------------------------------|
| ① 住所：白山市瀬戸辰3-1 | Tel：通報者の電話番号 |
| (1) Address: 3-1, Seto, Tatsu, Hakusan City | Tel: Telephone number of the caller |
| ② 場所：金沢工業大学 白山麓キャンパス (国際高等専門学校) | |
| (2) Kanazawa Institute of Technology Hakusan-roku Campus | |
| (International College of Technology) | |

救急医療機関

鶴来病院	076-272-1250
新村病院	076-273-0100
きりの里診療所	076-272-8163
吉野谷診療所	076-255-5019